

2020 年度ゼミ (4001 演習 3A/4002 演習 3B) 要覧

担当者名	大川玲子
演習テーマ	イスラームの思想と文化
内容と卒業論文の指導方針	イスラームという宗教体系の思想と文化を考える。 卒論のテーマは、イスラームの宗教・文化・思想を主たる関心対象とすること。その時代や地域は問わない。
メール・アドレス	okawa@k.meijigakuin.ac.jp
オフィス・アワー	火曜日と木曜日のお昼休み (メールで予約すること)
授業概要	主に以下のようなテーマのなかから学び、ゼミ内で論じる。(1)聖典クルアーン (コーラン) と伝承 (ハディース)、(2)伝統的な思想 (神学、哲学、法学、スンナ派・シーア派、神秘主義)、(3)近現代以降生じた思想 (サラフィー主義、イスラーム主義など)、(4)宗教儀礼 (断食、巡礼など)、(5)日常生活 (礼拝、モスクなど)、(6)宗教者と宗教教育 (ウラマー、宗教学校など)。
学習目標	ムスリムの行動や思想は多様であるが、まずは、その背景にある共通する世界観を理解する必要がある。これをふまえた上で、現実が生じている多様な事柄のなかから自分自身の関心事を見つけ、深く掘り下げて考えていく。
授業計画	授業概要で述べたテーマに沿って、文献を講読し、議論する。そのなかで、各自の関心事に応じて、プレゼンテーションをし、考えを深め、まとめていく。プレゼンテーションをもとにレポートを作成する。映像資料も用いる。 ゼミの総まとめとして、イスラームの聖典『クルアーン』の講読を行う。
予習	指定された文献を読み、要約を作成、論点を抽出する。 プレゼンなどの準備も行う。
復習	関連文献を読み、レポート作成につなげる。
授業に関する注意事項	欠席の場合、必ず教員にメールで連絡をすること。
教科書	大川玲子の『クルアーン』(慶応大学出版会)など、授業初回で指定する。
参考書	クック (大川玲子訳)『コーラン』(岩波書店)など。
成績評価の基準	授業参加 50%、プレゼンテーション 20%、レポート 30%。
関連 URL	https://fis.meijigakuin.ac.jp/fis/staff/okawareiko http://www.meijigakuin.ac.jp/~iism/member/okawa_profile.html
備考	「イスラム教文化論」や「西アジア地域研究」を受講することが望ましい。 原則として、重複する議論はゼミでは行わない。